

## ネイティブヒトプラスミン

Cat. No. NATE-0598

Lot. No. (See product label)

### はじめに

説明	プラスミンはフィブリノリティックカスケードの重要な酵素として機能し、炎症プロセスにも重要です。プラスミンは、トリプシンよりも高い選択性でリジンおよびアルギニン残基のカルボキシル側で優先的に切断を示します。ポリメライズされたフィブリンを可溶性の産物に交換します。
用途	プラスミンと阻害剤の複合体が、ウロキナーゼ活性化ヒト血漿から親和性クロマトグラフィーを用いて研究で分離されました。また、プラスミンとキモトリプシンによるヒト上皮ナトリウムチャンネル (ENaC) の活性化を調べるための研究にも使用されました。
別名	フィブリナーゼ; フィブリノリシン; アクターゼ; 血清トリプターゼ; トロンボリシン; プラスミン; EC 3.4.21.7; 9001-90-5; PLG

### 製品情報

種	人間
由来	ヒト血漿
形態	リン酸ナトリウム、マンニトール、及びNaClを含む凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 3.4.21.7
CAS登録番号	9001-90-5
活性	> 2.0 ユニット / mg タンパク質
最適pH	8.5
最適温度	37°Cで、56°Cで迅速に不活化される
代謝経路	マトリックスメタロプロテイナーゼの活性化、特定生物体のバイオシステム; アンジオポエチン受容体Tie2を介したシグナル伝達、特定生物体のバイオシステム; 血液凝固カスケード、特定生物体のバイオシステム; 補体および凝固カスケード、特定生物体のバイオシステム; 補体および凝固カスケード、特定生物体のバイオシステム; 補体および凝固カスケード、保存されたバイオシステム; 細胞外マトリックスの分解、特定生物体のバイオシステム
機能	アポリポrotein結合; 細胞表面結合; ペプチダーゼ活性; タンパク質結合; タンパク質ドメイン特異的結合; セリン型エンドペプチダーゼ活性
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、37°CでD-Val-Leu-Lys-p-Nitroanilideから1分あたり1μmoleのp-Nitroanilideを生成します。

### 保管・発送情報

保存方法	-20°C
------	-------